

(6) 情報・コミュニケーションの保障に関する配慮や工夫※

※ ここでは、コミュニケーションに関して、「障がい者が「あってよかった」と思う配慮や工夫」「障がい者が「困ったこと」「あったらいいな」と思う配慮や工夫」のうち(1)から(5)までに該当しないものについて掲載している。

ア 障がい者が「あってよかった」と思った配慮や工夫

- Ⅰ 各種研修会、イベント等において、点字・手話・パソコンによる情報発信等が当たり前のようになってきたことは高く評価できる。(盲ろう)
- Ⅰ インターネットや情報通信機器が便利である。(情報を得ること、コミュニケーション、行き先情報の収集など)(盲ろう、視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由、内部障がい、知的障がい)
- Ⅰ 点字版があつて助かった。選挙のときに点字投票ができるのはよかった。点字パソコンの情報が便利だ。(視覚障がい)
- Ⅰ パソコン、インターネットの音声読み上げが助かる。(盲ろう、視覚障がい)
- Ⅰ 携帯電話が音声で読み上げてくれるようになり、交流が広がった。(視覚障がい)
- Ⅰ デイジー版での情報が助かる。(視覚障がい)
- Ⅰ サピエ(さまざまな情報を点字や音声データで提供するネットワークシステム)を利用してたくさんの本が読めるようになってよかった。(視覚障がい)
- Ⅰ 広報など、カセットテープ等音声により情報提供してくれてありがたい。(視覚障がい)
- Ⅰ 録音版、音声版があつてよかった。CD版での説明があつてよかった。(視覚障がい)
- Ⅰ 講演会で、スライドだけでなく、音声での補足説明があつたので、よくわかった。(視覚障がい)
- Ⅰ 手話通訳がいたので、講演会や打合せで内容がよくわかった。(聴覚障がい)
- Ⅰ テレビで、手話通訳者の画面が、発言者のすぐ近くにあつてわかりやすかった。(聴覚障がい)
- Ⅰ プロジェクターで文字を映してくれるので便利だ。(盲ろう)
- Ⅰ 高次脳機能障がいのため、漢字が読めず、ひらがな、カタカナで書いてもらい分かりやすかった。(肢体不自由)
- Ⅰ 講演会の時、手話通訳と要約筆記の両方ついていて、わかり易かった。(聴覚障がい)
- Ⅰ ガイドと手書きで触手話をしてくれるので、よかった。(盲ろう)
- Ⅰ 筆談パッドや筆談ボードがあつて便利。筆談タブレット(書いたものが、こちらから見えるようになっている)を用意してくれてうれしかった。(聴覚障がい)
- Ⅰ 受付にメモやペンが置いてあると、すぐに筆談できるので助かる。(聴覚障がい)
- Ⅰ 筆談に加えて、ゆっくり話してくれたので、よくわかった。(聴覚障がい)
- Ⅰ 空書きで伝えてもらえる。身ぶりで伝えてもらえる。(聴覚障がい)

- Ⅰ コミュニケーション方法を尋ねてくれて、こちらの希望にあわせて対応してくれた。(聴覚障がい、盲ろう)
- Ⅰ パンフレットが用意されていたおかげで、内容が理解できた。(聴覚障がい、知的障がい)
- Ⅰ パソコンや携帯の白黒反転表示が見やすい。(視覚障がい)
- Ⅰ 視覚支援があるとわかりやすい。(例えば障がい者に限らず、トイレのマークはひと目で分かる)(知的障がい)
- Ⅰ 学校、福祉施設などで、絵、写真、コミュニケーションボードを使ってコミュニケーションができる。(知的障がい)
- Ⅰ 階段のそばには必ずスロープの位置を示した矢印があり、階段があっても迷わずに目的地へ行けた。(肢体不自由)
- Ⅰ 点訳・音訳ボランティアのおかげで、各種の情報が得られる。(視覚障がい)
- Ⅰ 通訳介助、ガイドヘルパーの支援があつてよかった。(盲ろう)
- Ⅰ 同行援護者がいるときは、伝えてもらえて便利だ。(視覚障がい)
- Ⅰ 本人が外出する場面で、ガイドが補足してもらえると安心して遠出も出来る。(知的障がい)
- Ⅰ ゆっくりと大きな声で話してくれたので、よくわかった。ゆっくり話してもらえると、言葉での対応が楽になる。(視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由、精神障がい、盲ろう)
- Ⅰ 声かけ。信号待ちで「青になった」と声かけしてもらい、無事に渡れた。(視覚障がい)
- Ⅰ ゆっくり話してくれると、触手話をしっかり伝えられて、ありがたい。(盲ろう)
- Ⅰ パソコンで調べものをするのが辛いとき、必要な情報を印刷して渡してくれるサポートが近くで得られて、助かった。(精神障がい)

イ 障がい者が「困ったこと」「あったらいいな」と思う配慮や工夫

- Ⅰ パソコンがなくても情報にアクセスできるようにして欲しい。(視覚障がい)
- Ⅰ 手足が全く動かないので、パソコンの入力装置の給付を検討して欲しい。(肢体不自由)
- Ⅰ IT(パソコン、携帯電話、スマートフォン等)の使い方をもっと教えて欲しい。(知的障がい、精神障がい)
- Ⅰ ITを利用してコミュニケーションに役立てているが、特別のソフトや機種を要するときや故障時のサポート等、低所得の障がい者には利用が困難と思う。(肢体不自由・内部障がい)
- Ⅰ パンフレット、チラシ、会議の案内等点字版がないので内容が分からない。(視覚障がい、盲ろう)
- Ⅰ 行政の情報は、点字で欲しい。点字の資料は、事前に送付して欲しい。(視覚障がい)
- Ⅰ スマートフォンが点字でも使えるようになれば、情報へのアクセスが容易に

なると思う。(盲ろう)

- Ⅰ タッチパネルだと使用できないので、何とかして欲しい。(視覚障がい、精神障がい)
- Ⅰ 携帯電話のメールや電話帳等に、音声機能をつけて欲しい。(視覚障がい)
- Ⅰ 国や府その他の情報について、点字版と同様に音声化もして欲しい。(視覚障がい)
- Ⅰ 講演会でスライドを示されたが、音声による説明がなかったので分かりにくかった。(視覚障がい)
- Ⅰ 打ち合わせや講演会で手話通訳がなかったので、うまくコミュニケーションがとれなかった。(聴覚障がい、盲ろう)
- Ⅰ 手話通訳者を増やして欲しい。(聴覚障がい)
- Ⅰ できるだけ、多くの人に手話を覚えて欲しい。手話で伝えたいが相手が手話ができない。(聴覚障がい)
- Ⅰ 舞台上の人と手話通訳者の距離が離れていると困る。本人の顔も見たいので、本人のそばに通訳が立って欲しい。(聴覚障がい)
- Ⅰ 市からの手話通訳派遣の利用範囲をもっと広げて欲しい。(カルチャー関係、料理教室などにも)(聴覚障がい)
- Ⅰ パンフレットなど、拡大文字版があればいいのと思う。(盲ろう、視覚障がい)
- Ⅰ なるべく大きい字にして欲しい。色の薄いインクは使用しないで欲しい。役所の届出用紙の文字が、小さかったり、薄かったりして読みづらく、書きづらい。(視覚障がい)
- Ⅰ 歌手のライブや講演会などでは、手話通訳者だけでなく、要約筆記も追加して欲しい。(手話通訳だけの場合、席によっては情報が見えにくい。要約筆記スクリーンの方が大きくて安心)(聴覚障がい)
- Ⅰ 料理教室などにも要約筆記をつけて欲しい。(聴覚障がい)
- Ⅰ 要約筆記の時、色の違いや、写真を出したりした時、見にくい。(盲ろう)
- Ⅰ 要約筆記者を派遣してもらえる範囲が決まっており、私用で頼めない。趣味の勉強会や講座に頼めないのが残念。有料(利用者負担)の派遣制度もあれば良いと思う。(聴覚障がい)
- Ⅰ 触手話が必要です。(盲ろう)
- Ⅰ こちらが聞こえないことを伝えても、筆談してもらえず、困った。最初は筆談していても、いつの間にか口頭だけになることがある。(聴覚障がい)
- Ⅰ 手書きでコミュニケーションをするので相手が早く書いたりするので分かりにくい。(盲ろう)
- Ⅰ 口話で話す時は通じるが、通じない時は筆記にしまい時間がかかってしまう。(聴覚障がい)
- Ⅰ ノートテーク、パソコン通訳など、コミュニケーションにあった準備が欲しい。(聴覚障がい)
- Ⅰ 難聴者と中途失聴者とうあ者とで、コミュニケーション方法が異なるので、

講演会などで工夫が必要である。(聴覚障がい)

- Ⅰ 話し声が表示される機器が欲しい。手話を話す機器が欲しい。(聴覚障がい)
- Ⅰ 講演会など部屋の中が暗いので触手話や口話などが分かりにくく、通じないので困る。(盲ろう)
- Ⅰ 代読通訳はあるが、ゆっくりと自分で読めないで困る。(盲ろう)
- Ⅰ 文字の情報はわかりにくいので、絵やマンガをたくさん入れて欲しい。(聴覚障がい、肢体不自由)
- Ⅰ 講演会などスクリーンが見えにくい。(要約筆記の字もわかりにくい)(盲ろう)
- Ⅰ 色弱の研究が進んでコンタクトやメガネができれば改善される場所は大きい。(精神障がい)
- Ⅰ 通訳者への報酬は高く設定されているのに、通訳の技術が未熟である。(盲ろう)
- Ⅰ ゆっくりと大きな声で話して欲しい。早口すぎて聞き取れない。(視覚障がい、盲ろう、肢体不自由、知的障がい)
- Ⅰ あいさつや声かけのとき、名前を名乗ってもらえず、コミュニケーションがとりにくかった。(名前を言って欲しい)(視覚障がい)
- Ⅰ 道を歩いている、声をかけられても分からないので困る。(聴覚障がい)
- Ⅰ 災害時のテレビやラジオでの発信音を、回数を多くするなど、分かるようにして欲しい。(視覚障がい)
- Ⅰ テレビ等で、緊急放送時はテロップだけでは分からないので音声を流して欲しい。(視覚障がい)
- Ⅰ 緊急災害情報をメールやFAXで伝えて欲しい。(聴覚障がい)
- Ⅰ 公衆電話がほとんどなくなって、大変苦労している。(精神障がい)
- Ⅰ 薬がきつい時、副作用で会話がしづらくなることを分かって欲しい。時間をゆっくりかけて話せるように工夫して欲しい。(精神障がい)